

全 員 協 議 会 会 議 録

(平成28年2月24日)

1. 各一部事務組合の現況と経過報告

む つ 市 議 会

むつ市議会全員協議会会議録

○開会の日時 平成28年 2月24日(水) 午前10時50分開会
午前11時10分閉会

○場 所 むつ市議場

○出席議員 (25人)

1番	原田敏匡	2番	山本留義
3番	佐々木隆徳	4番	工藤祥子
5番	横垣成年	6番	目時睦男
7番	川下八十美	8番	石田勝弘
9番	菊池広志	10番	東健而
11番	菊池光弘	12番	岡崎健吾
13番	鎌田ちよ子	14番	佐賀英生
16番	半田義秋	17番	富岡修
18番	斉藤孝昭	19番	富岡幸夫
20番	村中徹也	21番	白井二郎
22番	中村正志	23番	野呂泰喜
24番	濱田栄子	25番	佐々木肇
26番	浅利竹二郎		

○欠席議員 (1人)

15番 大瀧次男

○説明のため出席した者

市	長	宮下宗一郎
副市	長	新谷加水
教	育	長 遠島進
公	営	企 業 管 理 者 遠藤雪夫
総	括	監 花山俊春
総	務	政 策 部 長 川西伸二
財	務	部 長 石野了
民	生	部 長 柳谷孝志
保	健	福 祉 部 長 畑中秀樹

經 濟 部 長	高 橋 聖
建 設 部 長	吉 田 正
川 内 庁 舎 所 長 川 内 庁 舎 管 理 課 長	松 本 大 志
大 畑 庁 舎 所 長 大 畑 庁 舎 管 理 課 長	坂 井 隆
脇 野 沢 庁 舎 所 長 脇 野 沢 庁 舎 管 理 課 長	白 尾 芳 春
会 計 管 理 者 長 總 務 政 策 部 理 事 出 納 室 長	鹿 内 徹
教 育 部 長	古 川 俊 子
公 營 企 業 局 長 下 水 道 部 長	川 森 浩 史
總 務 政 策 部 政 策 推 進 監 企 画 調 整 課 長	光 野 義 厚
總 務 政 策 部 副 理 事 總 務 課 長	野 藤 賀 範
財 務 部 政 策 推 進 監	氏 家 剛
總 務 政 策 部 總 務 課 總 括 主 幹	中 村 智 郎
財 務 部 財 務 課 長	吉 田 真
總 務 政 策 部 總 務 課 主 任 主 査	栗 橋 恒 平
總 務 政 策 部 總 務 課 主 事	小 島 勝

○事務局出席者

事 務 局 長	柳 田 諭	次	長 濱 田 賢 一
總 括 主 幹	佐 藤 孝 悦	主	幹 小 林 睦 子
主 任 主 査	村 口 一 也	主	事 山 本 翼

(午前10時50分 開会)

○議長（浅利竹二郎） ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、各一部事務組合の現況と経過報告を受けることになっております。

それでは、市長から報告を求めます。市長。

(宮下宗一郎市長登壇)

○市長（宮下宗一郎） 各一部事務組合の現況と経過について、その概要をご報告申し上げ、協議の参考に供したいと存じます。

最初に、一部事務組合下北医療センターについてであります。昨年11月30日開会の組合議会第26回臨時会において2議案4報告が提案され、可決及び承認されました。

次に、下北地域広域行政事務組合についてであります。昨年11月30日開会の組合議会第54回臨時会において、1議案が提案され、可決されました。

これらの議案及び報告に係るご説明並びに医師の異動については、お手元に資料を配布しておりますので、ご了承いただきたいと存じます。

以上、各一部事務組合の現況と経過の概要をご報告申し上げた次第であります。

○議長（浅利竹二郎） ただいまの市長の報告に対して質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（浅利竹二郎） 質疑なしと認めます。

次に、市長からの報告以外の各一部事務組合の現況について質疑ありませんか。

川下八十美議員。

○7番（川下八十美） 一部事務組合の2議会に対する質疑に入る前に、議長のお許しをいただいて、一言申し上げたいと思います。

ただいま私たちの議会で平成28年度の市長の施政方針を承りました。私が議員経験をさせていただいている中で最も素晴らしい施政方針であることに感激をいたしましたので、これが下北医療センター議会あるいは下北地域広域行政事務組合議会にも波及されることを心から切望をいたして質疑に入らせていただきます。

せっかくの機会でありますので下北医療センター、下北地域広域行政事務組合のほうは別でありますけれども、むつ総合病院に関して2点、3点と言ったほうがよろしいかと思っておりますけれども、お伺いをさせていただきたいと思っております。

私は4年前には、下北医療センター議会にむつ市議会から8人出られるわ

けであります、その中で、私だけ一人は、本会議の選挙によって、実は私が自ら進んで下北医療センター議会に立候補し、出させていただいて、4年間務めさせていただきました。まことにありがとうございました。

今回私は、下北医療センター議会はもとよりのこと、下北地域広域行政事務組合議会のほうにも出ておりませんし、ご承知のとおり下北医療センター議会には8人、下北地域広域行政事務組合議会には10人、残りの議員はどちらにも出られないわけでありまして、またそれぞれの議会に出られない人たちは、この全員協議会をもって、唯一自分たちの考えあるいは市長、管理者の考え方をお伺いできる道でありますので、今回私は、下北医療センター議会のほうに名残惜しい部分もありまするので、あえて2点、3点ほどお伺いをいたしたいと思っております。

その第1点は、待ち時間というよりは、診察の待ち時間ではなしに、これはお医者さんの関係だとか、各課の対応の関係で待ち時間があることは言うまでもないのでありますが、朝の順番とりの待ち時間、きょうも私は5時に起きて、現状を見に行きまわりました。6時に行ったときは12人、そして後で市長からも答弁あるかと思っておりますが、今まで7時開門だったのですけれども、今回6時半、30分早めておるようであります。その6時半の開門のときには、17名の方々が、患者の方々が、あの寒風にさらされて玄関で順番とりに待っているわけです。

私は、選挙前の9月定例会だったと思うのですが、下北医療センター議会で質問させていただきました、前向きになっておることは確かでありますけれども、いずれにしても6時半まで、この寒い中です、あの玄関で順番とりをしなければならない状況が今もって続いているわけなのです。ですから私は、これは何か善後策がなければ、もっと詳しく申し上げたいけれども、やっぱり寒風にさらされているこの冬の間でも、それなりの対応の仕方があるのではないかというふうに考えますので、管理者であり、市長である市長からも、その辺の善後策の打開策等を、現在進められておられるのかどうか、ひとつお伺いをしておきます。

第2点目は、きょうもこの財政のことで市長の苦しい胸のうちを明かしていただいたのでありますが、耐震性に指摘を受けているむつ総合病院の改築と申しますか、新築と申しますか、その計画の進捗状況はどうなっておられるのか。そして、私は4年間の間で確認をいたしたことは、この病院の新築とあわせて、ヘリポートのいわゆる発着を屋上に考えたいということが出ました。しかし、ヘリポートは、某ある電力会社、はっきり申し上げてもいいでしょう。東北電力からかなり以前に1億5,000万円の寄附採納を受けてお

られるわけですね。この1億5,000万円の寄附採納を受けられておるヘリポートの設置を、現在それができ上がらないために市役所正面のいわゆる駐車場を、本当の駐車場のいいところをヘリポートの発着の緊急事態としてとっておられる。

2回目で申し上げますが、私が言いたいのは、やっぱり市役所の、きょうも私はあえて車を正面玄関のほうにとめてきました。やっぱり市民が日々市役所に用事があるとき、正面の一番いいところが、こういう雪が降ったときも、市民の皆さん方は、ちょっと一步離れた場所に車をとめて、雪の中、市役所に来なければいけない。はっきり言って市民の中から、何であの正面玄関のところを私らが車をとめられないだろうかという疑問を私に投げかけてくる人もおいでになります。

再質問で申し上げますけれども、そういったことも、やはり影響するわけでありますから、どうです、市長、管理者、むつ総合病院のいわゆる新築とあわせてドクターヘリ、これは大事なことです、もちろん大事なことでありますが、そういう我々が基本としなければ市民が影響を及ぼす、またそういう避難の、緊急事態の避難のあれをつくっておかなければならないということは、私も十二分に理解はしますけれども、こういった対応を今病院のほうではどういうふうに対処されておるのか、管理者である市長からひとつ、3点と言ったほうがいいかと思しますので、見解をお聞きをいたしたいと思えます。よろしく願います。

○議長（浅利竹二郎） 市長、答弁できますか。市長。

○市長（宮下宗一郎） 何度もこういう議論をしていると思うのですが、まずむつ総合病院に関する朝の待ち時間の問題、それからこれからの新築の現状や、あるいはドクターヘリをどうするかということについては、これは他自治体のことですので、この場での答弁は差し控えさせていただきます。

ただ1点、今の中で、市役所の前をドクターヘリで使っているというお話で、ご不便をおかけすることがあるという点については、これは一部事務組合のお話ではなくて、むつ市長としての立場でお答えをさせていただきたいのですが、それはこの全協という場で議論してよろしいことなのでしょうか、まず。

○議長（浅利竹二郎） 答弁できる範囲内で言ってください。

○市長（宮下宗一郎） いいですか。はい。

そういうことであればお答えをさせていただきますけれども、私こういうふうには考えています。市役所の前へのヘリポートについては、幹線道路へのア

クセス、これ救急車の意味です。それから、あと周辺の市街化の状況、さらには費用、こういった面から最良のポイントとなっていると。ただ、それを市役所の正面がいいのか、また端っこがいいのかということに関して言えば、これはもう正面しか、ヘリの離発着でこれできないということになっています。

私も市役所にお越しの方に、正面がああいうふうな形で使われているということで、ご不便をおかけすることがあるということは十分承知しておりますけれども、年間20回から30回、これ使われております。私は、私自身も含めて、これは譲り合いの精神というか、そういうものが必要だというふうに思っています。というふうに申しますのも、このドクターヘリを使う患者さんというのは、一分一秒を争う重篤の患者さんです。むつ総合病院には、小児外科、それから心臓血管外科というものの医師の配置がございません。ですから、まさに今この命の危険にかかわる子供たちがあそこを使って県病に運ばれているというのが現状なのだというふうに思います。ですから、そういう意味では、もし自分の子が、自分の孫が、あるいは自分のお父さんがということを考えれば、あそこの場所をあけていただくということは、多少の不便があっても多くの市民の皆様は納得していただけると思いますし、仮にそういった声を川下議員がその支持者の方から聞かれたということであれば、市長はそう言っていたので、何とか了解してもらえないかということでご納得いただければいいのではないかと。そういうふうな言い方をすれば、多くの方々のご理解いただけるのではないかとというふうに思います。

以上です。

○議長（浅利竹二郎） 川下八十美議員。

○7番（川下八十美） 市長、大変僭越でありますけれども、きょうのこの全員協議会のあり方については、以前にもはっきり言って去年、私の質問に対しての市長の対応から、代表者会議でももむにもんだ結果、やっぱり下北地域広域行政事務組合、下北医療センターの関係については、そこに出られない、また出ていない議員もそれぞれおるわけですから、全員協議会の場で意見を出し合い、議論をし合っていこうということに、代表者会議でも、もんだ結果がきょうのこの全員協議会であるわけでありますから、どうかそういう点では、市長の管理者としてのできる範囲内においてのご答弁、考え方をひとつお願いをしておきたいと思っております。これは、議長にもそうさせていただきたいと思っております。

そこで、最初に朝の待ち時間の順番とりのことについてでありますけれども、これは私もこういうことは余り好みません。私は、青森市民病院の状況

を事務局長の了解を得て、肖像権の関係もありますから、写真を撮らせてもらってきました。青森市民病院は、車寄せの場合もアーケードの中なのです。ところが、その車寄せのアーケードの下に患者さんを待たせておるのではなくして、待合室にきちんとこうして順番を、整理券を渡さなくても監視人が3人おりますから、むつ市にもおりますよ、監視人が。きょうも監視人の方も大変だとは思いましたが、除雪しながら監視しているわけですから、整理整頓しながら、青森市民病院では待合室の中に、開始時間は一緒なのです、時間も私はとってきましたけれども、一緒に、こうして順番に並んで、やっぱり人数にしては70人から100人いますよ、青森市民病院は。整然とそういう形をとって、7時、8時の受付も、受付の機械が4台あって、きちんと並んで受け付けをしておられるのです。私は余り他の病院と比較したくないのですが、私が言いたいのは、むつ総合病院の場合も寒風にさらされて、朝4時から5時、6時半の、今は6時半、7時の開門まで待たせるよりも、何らかの形で中に入れて、整理整頓する監視人がもうおいでになりますから、そういう方法を、一考を要するのではないかということをご意見として、また申し上げたいのであります。

それから、もう一つ申し上げたいのは、病院のことについては、これはじっくりと計画立案をしていただきたいと思っておりますが、今のヘリポートのドクターヘリ関係、私も川西総務政策部長から参考に、発着回数を見て、認識を新たにいたしました。もちろんこれは大事なことです。30回、35回も年間なされておるということを私も認識を新たにしましたが、一般市民は、やはりそこまで、失礼ですけれども、考えられないのではないかなど。自分たちが市役所に来てあれすれば、駐車場の件で、そういう状況になっておりますから、これはもう少し市民に対するPRも、また私自身も認識を新たにいたしましたから、広報むつなり、あるいは各そういう会合で徹底した対応をすることによって、そういった市民の苦情も、今の互助の精神として養われるのではないかなど、こう思いますもので、そういう方向でひとつやっていただきたいと思えます。

くどくど申し上げません。これらのことを参考にして、これからのむつ市のいわゆる待ち時間の関係、あるいはヘリポートの関係、あるいはこれから新しくつくるむつ総合病院、新幹線の青森駅の状況を見ても、アーケードをずっと通している。北海道の釧路空港から駐車場まで行くには、アーケードをつくって、雪の、冬の対応をしているということも私も聞いておりますから、これからのむつ総合病院の設計に当たっては、そういうことをも考慮したうえで、新しい形でのむつ総合病院を改築されることを希望して終わり

ます。

○議長（浅利竹二郎） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で各一部事務組合の現況と経過報告を終わります。

お諮りいたします。本日の全員協議会は、これで閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） ご異議なしと認めます。

よって、本日の全員協議会はこれで閉会いたします。

午前 11 時 10 分 閉会